

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

地域文化科学学士教育プログラム (地理学系科目群(仮称)コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【A】

地理学・歴史学・人類学に関わる専門的な諸資料(フィールドデータ、地理情報や統計資料、文献史料等)を正確に理解し、そこから課題を発見する能力

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【A】を達成するための取組
〈授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名〉

本プログラムの地理学分野では、次のような具体的な取り組みをしています。
 (プログラム配属前-2年次前学期まで)
 ① 1年次を対象とした必修科目「基礎演習」を開設し、大学における論文・レポート作成法及び各専門分野の基礎技能を早期に習得できるよう取り組んでいます。
 ② 1・2年次の間に各学問分野の概論を幅広く学び、それと並行して共通教育科目を履修することによって、総合的な基礎教養が身に付くようにカリキュラムを編成しています。
 ③ 1年～2年次(前学期)を主たる対象として、プログラム配属に備えた基礎力を身に付くように「地理総合」、各種概論科目、「地域文化科学フィールドワークⅠ」を配置しています。
 (プログラム配属後-2年次後学期以降)
 ④ 2年次には、学問的方法論や専門的なアカデミックスキルを修得するために「地域文化科学リテラシー」を配置しています。
 ⑤ 2～3年次には、各分野の専門科目で多様な理論を紹介するだけでなく、実践的な調査研究能力を育成するために「地域文化科学フィールドワークⅡ」及び調査法・方法論を提供しています。
 ⑥ 3年次の専門分野の選択では、学生の問題意識に応じた自主的な選択を尊重しています。さらに卒業論文作成の準備として演習授業(地域・国際実践力演習Ⅰ・Ⅱ)を行い、各分野における先端的な研究課題や研究事例について理解を深めます。
 ⑦ 4年次には、4年間の学習の集大成として卒業論文の作成指導を行っています(「地域・国際実践力演習Ⅲ・Ⅳ」及び「卒業研究」)。卒業論文では各自の問題意識に基づいた課題を設定し、自ら調査して資料を収集・分析し、論文を作成します。
 ①～⑦で示した主な学習内容を習得できたのかについては、年次ごとに段階的に評価します。

(3) 学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
必修(共通)	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	演習
必修(共通)	学共107	地理総合	2	1年次	前期	講義
必修(共通)		共通教育等科目(社会系・琉大特色)	2	1～2年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	学共210	地誌学概論	2	1～2年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	学共124	自然地理学概論	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	地文211	人文地理学概論	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	地文212	地理学実験Ⅰ	1	2年次	前期	実習
自由選択(専門)	地文213	地理学実験Ⅱ	1	2年次	後期	実習
必修(専門)	地文200	地域文化科学フィールドワークⅠ	2	2年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文201	地域文化科学リテラシー	2	2年次	後期	講義+実習
自由選択(専門)	地文214	地理空間情報学	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	地文221	人文地理学とフィールド	2	2～3年次	前期/後期	演習+実習
自由選択(専門)	地文222	自然地理学とフィールド	2	2～3年次	前期/後期	演習+実習
自由選択(専門)	地文223	地誌学とフィールド	2	2～3年次	前期/後期	演習+実習
自由選択(専門)	地文311	地理学実験Ⅲ	1	3年次	前期	実習
自由選択(専門)	地文312	地理学実験Ⅳ	1	3年次	後期	実習
必修(専門)	地文300	地域文化科学フィールドワークⅡ	2	3年次	前期	講義+実習
自由選択(専門)	地文321	人文地理学研究	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文322	自然地理学研究	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文323	地誌学研究	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文324	地理空間分析Ⅰ(GIS)	1	3年次	前期/後期	実習
自由選択(専門)	地文325	地理空間分析Ⅱ(GIS)	1	3年次	前期/後期	実習
自由選択(専門)	地文326	人文地理学実践研究	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文327	自然地理学実践研究	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文328	地誌学実践研究	2	3年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文301	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3年次	前期	演習
必修(専門)	地文302	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3年次	後期	演習
自由選択(専門)	地文379	自然遺産と博物館	2	3～4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文400	卒業研究	4	4年次	後期	演習
必修(専門)	地文401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4年次	前期	演習
必修(専門)	地文402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4年次	後期	演習

合計単位数 58

初年次

高年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

地域文化科学学士教育プログラム (地理学系科目群(仮称)コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1)学習教育目標【B】

諸資料や諸情報を自ら収集・分析し、課題を解決する能力

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2)学習教育目標【B】を達成するための取組
 <授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名>

本プログラムの地理学分野では、次のような具体的な取り組みをしています。
 (プログラム配属前-2年次前学期まで)
 ① 1年次を対象とした必修科目「基礎演習」を開設し、大学における論文・レポート作成法及び各専門分野の基礎技能を早期に習得できるよう取り組んでいます。
 ② 1・2年次の間に各学問分野の概論を幅広く学び、それと並行して共通教育科目を履修することによって、総合的な基礎教養が身に付くようにカリキュラムを編成しています。
 ③ 1年～2年次(前学期)を主たる対象として、プログラム配属に備えた基礎力を身に付くように「地理総合」、各種概論科目、「地域文化科学フィールドワークⅠ」を配置しています。
 (プログラム配属後-2年次後学期以降)
 ④ 2年次には、学問的方法論や専門的なアカデミックスキルを修得するために「地域文化科学リテラシー」を配置しています。
 ⑤ 2～3年次には、各分野の専門科目で多様な理論を紹介するだけでなく、実践的な調査研究能力を育成するために「地域文化科学フィールドワークⅡ」及び調査法・方法論を提供しています。
 ⑥ 3年次の専門分野の選択では、学生の問題意識に応じた自主的な選択を尊重しています。さらに卒業論文作成の準備として演習授業(地域・国際実践力演習Ⅰ・Ⅱ)を行い、各分野における先端的な研究課題や研究事例について理解を深めます。
 ⑦ 4年次には、4年間の学習の集大成として卒業論文の作成指導を行っています(「地域・国際実践力演習Ⅲ・Ⅳ」及び「卒業研究」)。卒業論文では各自の問題意識に基づいた課題を設定し、自ら調査して資料を収集・分析し、論文を作成します。
 ①～⑦で示した主な学習内容を習得できたのかについては、年次ごとに段階的に評価します。

(3)学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
必修(共通)	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	演習
必修(共通)	学共107	地理総合	2	1年次	前期	講義
自由選択(共通)	学共210	地誌学概論	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修(共通)		共通教育等科目(社会系・琉大特色)	2	1～2年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	学共124	自然地理学概論	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	地文211	人文地理学概論	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	地文212	地理学実験Ⅰ	1	2年次	前期	実習
自由選択(専門)	地文213	地理学実験Ⅱ	1	2年次	後期	実習
必修(専門)	地文200	地域文化科学フィールドワークⅠ	2	2年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文201	地域文化科学リテラシー	2	2年次	後期	講義+実習
自由選択(専門)	地文214	地理空間情報学	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	地文221	人文地理学とフィールド	2	2～3年次	前期/後期	演習+実習
自由選択(専門)	地文222	自然地理学とフィールド	2	2～3年次	前期/後期	演習+実習
自由選択(専門)	地文223	地誌学とフィールド	2	2～3年次	前期/後期	演習+実習
自由選択(専門)	地文311	地理学実験Ⅲ	1	3年次	前期	実習
自由選択(専門)	地文312	地理学実験Ⅳ	1	3年次	後期	実習
必修(専門)	地文300	地域文化科学フィールドワークⅡ	2	3年次	前期	講義+実習
自由選択(専門)	地文321	人文地理学研究	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文322	自然地理学研究	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文323	地誌学研究	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文324	地理空間分析Ⅰ(GIS)	1	3年次	前期/後期	実習
自由選択(専門)	地文325	地理空間分析Ⅱ(GIS)	1	3年次	前期/後期	実習
自由選択(専門)	地文326	人文地理学実践研究	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文327	自然地理学実践研究	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文328	地誌学実践研究	2	3年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文301	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3年次	前期	演習
必修(専門)	地文302	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3年次	後期	演習
自由選択(専門)	地文379	自然遺産と博物館	2	3～4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文400	卒業研究	4	4年次	後期	演習
必修(専門)	地文401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4年次	前期	演習
必修(専門)	地文402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4年次	後期	演習

合計単位数 58

初年次

高年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

地域文化科学学士教育プログラム (地理学系科目群(仮称)コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【C】

調査研究の成果を論文や報告にまとめ、地域社会・国際社会に向けて発信する能力

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【C】を達成するための取組
 <授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名>

本プログラムの地理学分野では、次のような具体的な取り組みをしています。
 (プログラム配属前-2年次前学期まで)
 ① 1年次を対象とした必修科目「基礎演習」を開設し、大学における論文・レポート作成法及び各専門分野の基礎技能を早期に習得できるよう取り組んでいます。
 ② 1・2年次の間に各学問分野の概論を幅広く学び、それと並行して共通教育科目を履修することによって、総合的な基礎教養が身に付くようにカリキュラムを編成しています。
 ③ 1年～2年次(前学期)を主たる対象として、プログラム配属に備えた基礎力を身に付くように「地理総合」、各種概論科目、「地域文化科学フィールドワークⅠ」を配置しています。
 (プログラム配属後-2年次後学期以降)
 ④ 2年次には、学問的方法論や専門的なアカデミックスキルを修得するために「地域文化科学リテラシー」を配置しています。
 ⑤ 2～3年次には、各分野の専門科目で多様な理論を紹介するだけでなく、実践的な調査研究能力を育成するために「地域文化科学フィールドワークⅡ」及び調査法・方法論を提供しています。
 ⑥ 3年次の専門分野の選択では、学生の問題意識に応じた自主的な選択を尊重しています。さらに卒業論文作成の準備として演習授業(地域・国際実践力演習Ⅰ・Ⅱ)を行い、各分野における先端的な研究課題や研究事例について理解を深めます。
 ⑦ 4年次には、4年間の学習の集大成として卒業論文の作成指導を行っています(「地域・国際実践力演習Ⅲ・Ⅳ」及び「卒業研究」)。卒業論文では各自の問題意識に基づいた課題を設定し、自ら調査して資料を収集・分析し、論文を作成します。
 ①～⑦で示した主な学習内容を習得できたのかについては、年次ごとに段階的に評価します。

(3) 学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
必修(共通)	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	演習
必修(共通)	学共107	地理総合	2	1年次	前期	講義
自由選択(共通)	学共210	地誌学概論	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修(共通)		共通教育等科目(社会系・琉大特色)	2	1～2年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	学共124	自然地理学概論	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	地文211	人文地理学概論	2	2年次	前期	講義
自由選択(専門)	地文212	地理学実験Ⅰ	1	2年次	前期	実習
自由選択(専門)	地文213	地理学実験Ⅱ	1	2年次	後期	実習
必修(専門)	地文200	地域文化科学フィールドワークⅠ	2	2年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文201	地域文化科学リテラシー	2	2年次	後期	講義+実習
自由選択(専門)	地文214	地理空間情報学	2	2年次	後期	講義
自由選択(専門)	地文221	人文地理学とフィールド	2	2～3年次	前期/後期	演習+実習
自由選択(専門)	地文222	自然地理学とフィールド	2	2～3年次	前期/後期	演習+実習
自由選択(専門)	地文223	地誌学とフィールド	2	2～3年次	前期/後期	演習+実習
自由選択(専門)	地文311	地理学実験Ⅲ	1	3年次	前期	実習
自由選択(専門)	地文312	地理学実験Ⅳ	1	3年次	後期	実習
必修(専門)	地文300	地域文化科学フィールドワークⅡ	2	3年次	前期	講義+実習
自由選択(専門)	地文321	人文地理学研究	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文322	自然地理学研究	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文323	地誌学研究	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文324	地理空間分析Ⅰ(GIS)	1	3年次	前期/後期	実習
自由選択(専門)	地文325	地理空間分析Ⅱ(GIS)	1	3年次	前期/後期	実習
自由選択(専門)	地文326	人文地理学実践研究	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文327	自然地理学実践研究	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文328	地誌学実践研究	2	3年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文301	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3年次	前期	演習
必修(専門)	地文302	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3年次	後期	演習
自由選択(専門)	地文379	自然遺産と博物館	2	3～4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文400	卒業研究	4	4年次	後期	演習
必修(専門)	地文401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4年次	前期	演習
必修(専門)	地文402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4年次	後期	演習

合計単位数 58

初年次

高年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

地域文化科学学士教育プログラム (歴史学系科目群(仮称)コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【A】

地理学・歴史学・人類学に関わる専門的な諸資料(フィールドデータ、地理情報や統計資料、文献史料等)を正確に理解し、そこから課題を発見する能力

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【A】を達成するための取組
 <授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名>

本プログラムの歴史学分野では、次のような具体的な取り組みをしています。
 (プログラム配属前-2年次前学期まで)
 ①1年次を対象とした必修科目「基礎演習」を開設し、大学における論文・レポート作成法及び各専門分野の基礎技能を早期に習得できるよう取り組んでいます。
 ②1・2年次の間に各学問分野の概論を幅広く学び、それと並行して共通教育科目を履修することによって、総合的な基礎教養が身に付くようにカリキュラムを編成しています。
 ③1年～2年次(前学期)を主たる対象として、プログラム配属に備えた基礎力を身に付くように「歴史総合」、各種概論科目、「地域文化科学フィールドワークⅠ」を配置しています。
 (プログラム配属後-2年次後学期以降)
 ④2年次には、学問的方法論や専門的なアカデミックスキルを修得するために「地域文化科学リテラシー」を配置しています。
 ⑤2～3年次には、各分野の専門科目で多様な理論を紹介するだけでなく、実践的な調査研究能力を育成するために「地域文化科学フィールドワークⅡ」及び実践演習(内容は主に史料講読)を提供しています。
 ⑥3年次の専門分野の選択では、学生の問題意識に応じた自主的な選択を尊重しています。さらに卒業論文作成の準備として演習授業(地域・国際実践力演習Ⅰ・Ⅱ)を行い、各分野における先端的な研究課題や研究事例について理解を深めます。
 ⑦4年次には、4年間の学習の集大成として卒業論文の作成指導を行っています(「地域・国際実践力演習Ⅲ・Ⅳ」及び「卒業研究」)。卒業論文では各自の問題意識に基づいた課題を設定し、自ら調査して資料を収集・分析し、論文を作成します。
 ①～⑦で示した主な学習内容を習得できたのかについては、年次ごとに段階的に評価します。

(3) 学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
必修(共通)	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	演習
必修(共通)	学共116	歴史総合	2	1年次	後期	講義
自由選択(共通)	学共211	日本史概論	2	1～2年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	学共212	世界史概論(東洋史)	2	1～2年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	学共213	世界史概論(西洋史)	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修(共通)		共通教育等科目(人文系)	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文200	地域文化科学フィールドワークⅠ	2	2年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文201	地域文化科学リテラシー	2	2年次	後期	講義+実習
自由選択(専門)	地文231～233	日本史実践演習Ⅰ～Ⅲ	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文234	世界史実践演習Ⅰ(東洋史)	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文235	世界史実践演習Ⅱ(西洋史)	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文236	世界史実践演習Ⅲ(東洋史または西洋史)	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文237	文化史	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文238～243	日本史研究Ⅰ～Ⅲ	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文241～243	日本史研究Ⅳ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文244	世界史研究Ⅰ(東洋史)	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文245	世界史研究Ⅱ(西洋史)	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文246	世界史研究Ⅲ(東洋史または西洋史)	2	2～3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文247	世界史研究Ⅳ(東洋史)	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文248	世界史研究Ⅴ(西洋史)	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文249	世界史研究Ⅵ(東洋史または西洋史)	2	2～4年次	前期/後期	演習
必修(専門)	地文300	地域文化科学フィールドワークⅡ	2	3年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文301	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3年次	前期	演習
必修(専門)	地文302	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3年次	後期	演習
自由選択(専門)	地文341～343	日本史実践演習Ⅳ～Ⅵ	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文344	世界史実践演習Ⅳ(東洋史)	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文345	世界史実践演習Ⅴ(西洋史)	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文346	世界史実践演習Ⅵ(東洋史または西洋史)	2	3年次	前期/後期	演習
必修(専門)	地文400	卒業研究	4	4年次	後期	演習
必修(専門)	地文401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4年次	前期	演習
必修(専門)	地文402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4年次	後期	演習

合計単位数 64

初年次

高年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

地域文化科学学士教育プログラム (歴史学系科目群(仮称)コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【B】

諸資料や諸情報を自ら収集・分析し、課題を解決する能力

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【B】を達成するための取組
 <授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名>

本プログラムの歴史学分野では、次のような具体的な取り組みをしています。
 (プログラム配属前-2年次前学期まで)
 ① 1年次を対象とした必修科目「基礎演習」を開設し、大学における論文・レポート作成法及び各専門分野の基礎技能を早期に習得できるよう取り組んでいます。
 ② 1・2年次の間に各学問分野の概論を幅広く学び、それと並行して共通教育科目を履修することによって、総合的な基礎教養が身に付くようにカリキュラムを編成しています。
 ③ 1年～2年次(前学期)を主たる対象として、プログラム配属に備えた基礎力を身に付くように「歴史総合」、各種概論科目、「地域文化科学フィールドワークⅠ」を配置しています。
 (プログラム配属後-2年次後学期以降)
 ④ 2年次には、学問的方法論や専門的なアカデミックスキルを修得するために「地域文化科学リテラシー」を配置しています。
 ⑤ 2～3年次には、各分野の専門科目で多様な理論を紹介するだけでなく、実践的な調査研究能力を育成するために「地域文化科学フィールドワークⅡ」及び実践演習(内容は主に史料講読)を提供しています。
 ⑥ 3年次の専門分野の選択では、学生の問題意識に応じた自主的な選択を尊重しています。さらに卒業論文作成の準備として演習授業(地域・国際実践力演習Ⅰ・Ⅱ)を行い、各分野における先端的研究課題や研究事例について理解を深めます。
 ⑦ 4年次には、4年間の学習の集大成として卒業論文の作成指導を行っています。「地域・国際実践力演習Ⅲ・Ⅳ」及び「卒業研究」。卒業論文では各自の問題意識に基づいた課題を設定し、自ら調査して資料を収集・分析し、論文を作成します。
 ①～⑦で示した主な学習内容を習得できたのかについては、年次ごとに段階的に評価します。

(3) 学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分 (選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次 (選択式)	学期 (選択式)	授業形態 (選択式)
必修(共通)	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	演習
必修(共通)	学共116	歴史総合	2	1年次	後期	講義
自由選択(共通)	学共211	日本史概論	2	1～2年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	学共212	世界史概論(東洋史)	2	1～2年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	学共213	世界史概論(西洋史)	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修(共通)		共通教育等科目(人文系)	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文200	地域文化科学フィールドワークⅠ	2	2年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文201	地域文化科学リテラシー	2	2年次	後期	講義+実習
自由選択(専門)	地文231～233	日本史実践演習Ⅰ～Ⅲ	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文234	世界史実践演習Ⅰ(東洋史)	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文235	世界史実践演習Ⅱ(西洋史)	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文236	世界史実践演習Ⅲ(東洋史または西洋史)	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文237	文化史	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文238～243	日本史研究Ⅰ～Ⅲ	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文241～243	日本史研究Ⅳ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文244	世界史研究Ⅰ(東洋史)	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文245	世界史研究Ⅱ(西洋史)	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文246	世界史研究Ⅲ(東洋史または西洋史)	2	2～3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文247	世界史研究Ⅳ(東洋史)	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文248	世界史研究Ⅴ(西洋史)	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文249	世界史研究Ⅵ(東洋史または西洋史)	2	2～4年次	前期/後期	演習
必修(専門)	地文300	地域文化科学フィールドワークⅡ	2	3年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文301	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3年次	前期	演習
必修(専門)	地文302	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3年次	後期	演習
自由選択(専門)	地文341～343	日本史実践演習Ⅳ～Ⅵ	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文344	世界史実践演習Ⅳ(東洋史)	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文345	世界史実践演習Ⅴ(西洋史)	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文346	世界史実践演習Ⅵ(東洋史または西洋史)	2	3年次	前期/後期	演習
必修(専門)	地文400	卒業研究	4	4年次	後期	演習
必修(専門)	地文401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4年次	前期	演習
必修(専門)	地文402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4年次	後期	演習

合計単位数 64

初年次

高年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

地域文化科学学士教育プログラム (歴史学系科目群(仮称)コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【C】

調査研究の成果を論文や報告にまとめ、地域社会・国際社会に向けて発信する能力

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【C】を達成するための取組
 <授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名>

本プログラムの歴史学分野では、次のような具体的な取り組みをしています。
 (プログラム配属前-2年次前学期まで)
 ①1年次を対象とした必修科目「基礎演習」を開設し、大学における論文・レポート作成法及び各専門分野の基礎技能を早期に習得できるよう取り組んでいます。
 ②1・2年次の間に各学問分野の概論を幅広く学び、それと並行して共通教育科目を履修することによって、総合的な基礎教養が身に付くようにカリキュラムを編成しています。
 ③1年～2年次(前学期)を主たる対象として、プログラム配属に備えた基礎力を身に付くように「歴史総合」、各種概論科目、「地域文化科学フィールドワークⅠ」を配置しています。
 (プログラム配属後-2年次後学期以降)
 ④2年次には、学問的方法論や専門的なアカデミックスキルを修得するために「地域文化科学リテラシー」を配置しています。
 ⑤2～3年次には、各分野の専門科目で多様な理論を紹介するだけでなく、実践的な調査研究能力を育成するために「地域文化科学フィールドワークⅡ」及び実践演習(内容は主に史料講読)を提供しています。
 ⑥3年次の専門分野の選択では、学生の問題意識に応じた自主的な選択を尊重しています。さらに卒業論文作成の準備として演習授業(地域・国際実践力演習Ⅰ・Ⅱ)を行い、各分野における先端的な研究課題や研究事例について理解を深めます。
 ⑦4年次には、4年間の学習の集大成として卒業論文の作成指導を行っています(「地域・国際実践力演習Ⅲ・Ⅳ」及び「卒業研究」)。卒業論文では各自の問題意識に基づいた課題を設定し、自ら調査して資料を収集・分析し、論文を作成します。
 ①～⑦で示した主な学習内容を習得できたのかについては、年次ごとに段階的に評価します。

(3) 学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分 (選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次 (選択式)	学期 (選択式)	授業形態 (選択式)
必修(共通)	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	演習
必修(共通)	学共116	歴史総合	2	1年次	後期	講義
自由選択(共通)	学共211	日本史概論	2	1～2年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	学共212	世界史概論(東洋史)	2	1～2年次	前期/後期	講義
自由選択(共通)	学共213	世界史概論(西洋史)	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修(共通)		共通教育等科目(人文系)	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文200	地域文化科学フィールドワークⅠ	2	2年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文201	地域文化科学リテラシー	2	2年次	後期	講義+実習
自由選択(専門)	地文231～233	日本史実践演習Ⅰ～Ⅲ	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文234	世界史実践演習Ⅰ(東洋史)	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文235	世界史実践演習Ⅱ(西洋史)	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文236	世界史実践演習Ⅲ(東洋史または西洋史)	2	2年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文237	文化史	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文238～243	日本史研究Ⅰ～Ⅲ	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文241～243	日本史研究Ⅳ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文244	世界史研究Ⅰ(東洋史)	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文245	世界史研究Ⅱ(西洋史)	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文246	世界史研究Ⅲ(東洋史または西洋史)	2	2～3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文247	世界史研究Ⅳ(東洋史)	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文248	世界史研究Ⅴ(西洋史)	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文249	世界史研究Ⅵ(東洋史または西洋史)	2	2～4年次	前期/後期	演習
必修(専門)	地文300	地域文化科学フィールドワークⅡ	2	3年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文301	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3年次	前期	演習
必修(専門)	地文302	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3年次	後期	演習
自由選択(専門)	地文341～343	日本史実践演習Ⅳ～Ⅵ	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文344	世界史実践演習Ⅳ(東洋史)	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文345	世界史実践演習Ⅴ(西洋史)	2	3年次	前期/後期	演習
自由選択(専門)	地文346	世界史実践演習Ⅵ(東洋史または西洋史)	2	3年次	前期/後期	演習
必修(専門)	地文400	卒業研究	4	4年次	後期	演習
必修(専門)	地文401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4年次	前期	演習
必修(専門)	地文402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4年次	後期	演習

合計単位数 64

初年次

高年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

地域文化科学学士教育プログラム (人類学系科目群(仮称)コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【A】

地理学・歴史学・人類学に関わる専門的な諸資料(フィールドデータ、地理情報や統計資料、文献史料等)を正確に理解し、そこから課題を発見する能力

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【A】を達成するための取組
(授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名)

本プログラムの人類学分野では、次のような具体的な取り組みをしています。
(プログラム配属前-2年次前学期まで)
①1年次を対象とした必修科目「基礎演習」を開設し、大学における論文・レポート作成法及び各専門分野の基礎技能を早期に習得できるよう取り組んでいます。
②1・2年次の間に各学問分野の概論を幅広く学び、それと並行して共通教育科目を履修することによって、総合的な基礎教養が身に付くようにカリキュラムを編成しています。
③1年～2年次(前学期)を主たる対象として、プログラム配属に備えた基礎力を身に付くように「人類文化入門」、各種概論科目、「地域文化科学フィールドワークⅠ」を配置しています。
(プログラム配属後-2年次後学期以降)
④2年次には、学問的方法論や専門的なアカデミックスキルを修得するために「地域文化科学リテラシー」を配置しています。
⑤2～3年次には、各分野の専門科目で多様な理論を紹介するだけでなく、実践的な調査研究能力を育成するために「地域文化科学フィールドワークⅡ」及び調査法・方法論を提供しています。
⑥3年次の専門分野の選択では、学生の問題意識に応じた自主的な選択を尊重しています。さらに卒業論文作成の準備として演習授業(地域・国際実践力演習Ⅰ・Ⅱ)を行い、各分野における先端的な研究課題や研究事例について理解を深めます。
⑦4年次には、4年間の学習の集大成として卒業論文の作成指導を行っています(「地域・国際実践力演習Ⅲ・Ⅳ」及び「卒業研究」)。卒業論文では各自の問題意識に基づいた課題を設定し、自ら調査して資料を収集・分析し、論文を作成します。
①～⑦で示した主な学習内容を習得できたのかについては、年次ごとに段階的に評価します。

(3) 学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
必修(共通)	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	演習
必修(共通)	学共117	人類文化入門	2	1年次	後期	講義
自由選択(共通)	学共214	社会人類学Ⅰ	2	1～2年次	前期	講義
自由選択(共通)	地文101	社会人類学Ⅱ	2	1～2年次	後期	講義
	学共215	考古学Ⅰ	2	1～2年次	前期	講義
	地文102	考古学Ⅱ	2	1～2年次	後期	講義
自由選択(共通)	学共216	民俗学Ⅰ	2	1～2年次	前期	講義
自由選択(共通)	地文103	民俗学Ⅱ	2	1～2年次	後期	講義
必修(共通)		共通教育等科目(社会系)	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文200	地域文化科学フィールドワークⅠ	2	2年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文201	地域文化科学リテラシー	2	2年次	後期	講義+実習
自由選択(専門)	地文261	社会人類学調査法Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文262	考古学研究方法論Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文263	民俗学調査法Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文264	社会人類学学説史	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文265～268	民族誌Ⅰ～Ⅳ	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文265～268	考古学史	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文361～366	社会人類学Ⅰ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文367～372	考古学研究Ⅰ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文373～378	民俗学研究Ⅰ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文300	地域文化科学フィールドワークⅡ	2	3年次	前期	講義+実習
自由選択(専門)	地文313	社会人類学調査法Ⅱ	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文314	考古学研究方法論Ⅱ	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文314	民俗学調査法Ⅱ	2	3年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文301	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3年次	前期	演習
必修(専門)	地文302	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3年次	後期	演習
自由選択(専門)	地文379	自然遺産と博物館	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文380	文化財と博物館	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文381	沖縄民俗社会論	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文382	沖縄考古学論	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文383	水中考古学	2	3～4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文400	卒業研究	4	4年次	後期	演習
必修(専門)	地文401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4年次	前期	演習
必修(専門)	地文402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4年次	後期	演習

合計単位数 70

初年次

高年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

地域文化科学学士教育プログラム (人類学系科目群(仮称)コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1)学習教育目標【B】

諸資料や諸情報を自ら収集・分析し、課題を解決する能力

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2)学習教育目標【B】を達成するための取組
 (授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名)

本プログラムの人類学分野では、次のような具体的な取り組みをしています。
 (プログラム配属前-2年次前学期まで)
 ① 1年次を対象とした必修科目「基礎演習」を開設し、大学における論文・レポート作成法及び各専門分野の基礎技能を早期に習得できるよう取り組んでいます。
 ② 1・2年次の間に各学問分野の概論を幅広く学び、それと並行して共通教育科目を履修することによって、総合的な基礎教養が身に付くようにカリキュラムを編成しています。
 ③ 1年～2年次(前学期)を主たる対象として、プログラム配属に備えた基礎力を身に付くように「人類文化入門」、各種概論科目、「地域文化科学フィールドワークⅠ」を配置しています。
 (プログラム配属後-2年次後学期以降)
 ④ 2年次には、学問的方法論や専門的なアカデミックスキルを修得するために「地域文化科学リテラシー」を配置しています。
 ⑤ 2～3年次には、各分野の専門科目で多様な理論を紹介するだけでなく、実践的な調査研究能力を育成するために「地域文化科学フィールドワークⅡ」及び調査法・方法論を提供しています。
 ⑥ 3年次の専門分野の選択では、学生の問題意識に応じた自主的な選択を尊重しています。さらに卒業論文作成の準備として演習授業(地域・国際実践力演習Ⅰ・Ⅱ)を行い、各分野における先端的な研究課題や研究事例について理解を深めます。
 ⑦ 4年次には、4年間の学習の集大成として卒業論文の作成指導を行っています(「地域・国際実践力演習Ⅲ・Ⅳ」及び「卒業研究」)。卒業論文では各自の問題意識に基づいた課題を設定し、自ら調査して資料を収集・分析し、論文を作成します。
 ①～⑦で示した主な学習内容を習得できたのかについては、年次ごとに段階的に評価します。

(3)学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
必修(共通)	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	演習
必修(共通)	学共117	人類文化入門	2	1年次	後期	講義
自由選択(共通)	学共214	社会人類学Ⅰ	2	1～2年次	前期	講義
自由選択(共通)	地文101	社会人類学Ⅱ	2	1～2年次	後期	講義
	学共215	考古学Ⅰ	2	1～2年次	前期	講義
	地文102	考古学Ⅱ	2	1～2年次	後期	講義
自由選択(共通)	学共216	民俗学Ⅰ	2	1～2年次	前期	講義
自由選択(共通)	地文103	民俗学Ⅱ	2	1～2年次	後期	講義
必修(共通)		共通教育等科目(社会系)	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文200	地域文化科学フィールドワークⅠ	2	2年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文201	地域文化科学リテラシー	2	2年次	後期	講義+実習
自由選択(専門)	地文261	社会人類学調査法Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文262	考古学研究方法論Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文263	民俗学調査法Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文264	社会人類学学説史	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文265～268	民族誌Ⅰ～Ⅳ	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文265～268	考古学史	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文361～366	社会人類学Ⅰ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文367～372	考古学研究Ⅰ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文373～378	民俗学研究Ⅰ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文300	地域文化科学フィールドワークⅡ	2	3年次	前期	講義+実習
自由選択(専門)	地文313	社会人類学調査法Ⅱ	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文314	考古学研究方法論Ⅱ	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文314	民俗学調査法Ⅱ	2	3年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文301	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3年次	前期	演習
必修(専門)	地文302	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3年次	後期	演習
自由選択(専門)	地文379	自然遺産と博物館	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文380	文化財と博物館	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文381	沖縄民俗社会論	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文382	沖縄考古学論	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文383	水中考古学	2	3～4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文400	卒業研究	4	4年次	後期	演習
必修(専門)	地文401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4年次	前期	演習
必修(専門)	地文402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4年次	後期	演習

合計単位数 70

初年次

高年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート:DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

地域文化科学学士教育プログラム (人類学系科目群(仮称)コース)

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【C】

調査研究の成果を論文や報告にまとめ、地域社会・国際社会に向けて発信する能力

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【C】を達成するための取組
 (授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名)

本プログラムの人類学分野では、次のような具体的な取り組みをしています。
 (プログラム配属前-2年次前学期まで)
 ① 1年次を対象とした必修科目「基礎演習」を開設し、大学における論文・レポート作成法及び各専門分野の基礎技能を早期に習得できるよう取り組んでいます。
 ② 1・2年次の間に各学問分野の概論を幅広く学び、それと並行して共通教育科目を履修することによって、総合的な基礎教養が身に付くようにカリキュラムを編成しています。
 ③ 1年～2年次(前学期)を主たる対象として、プログラム配属に備えた基礎力を身に付くように「人類文化入門」、各種概論科目、「地域文化科学フィールドワークⅠ」を配置しています。
 (プログラム配属後-2年次後学期以降)
 ④ 2年次には、学問的方法論や専門的なアカデミックスキルを修得するために「地域文化科学リテラシー」を配置しています。
 ⑤ 2～3年次には、各分野の専門科目で多様な理論を紹介するだけでなく、実践的な調査研究能力を育成するために「地域文化科学フィールドワークⅡ」及び調査法・方法論を提供しています。
 ⑥ 3年次の専門分野の選択では、学生の問題意識に応じた自主的な選択を尊重しています。さらに卒業論文作成の準備として演習授業(地域・国際実践力演習Ⅰ・Ⅱ)を行い、各分野における先端的な研究課題や研究事例について理解を深めます。
 ⑦ 4年次には、4年間の学習の集大成として卒業論文の作成指導を行っています(「地域・国際実践力演習Ⅲ・Ⅳ」及び「卒業研究」)。卒業論文では各自の問題意識に基づいた課題を設定し、自ら調査して資料を収集・分析し、論文を作成します。
 ①～⑦で示した主な学習内容を習得できたのかについては、年次ごとに段階的に評価します。

(3) 学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分(選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次(選択式)	学期(選択式)	授業形態(選択式)
必修(共通)	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	演習
必修(共通)	学共117	人類文化入門	2	1年次	後期	講義
自由選択(共通)	学共214	社会人類学Ⅰ	2	1～2年次	前期	講義
自由選択(共通)	地文101	社会人類学Ⅱ	2	1～2年次	後期	講義
	学共215	考古学Ⅰ	2	1～2年次	前期	講義
	地文102	考古学Ⅱ	2	1～2年次	後期	講義
自由選択(共通)	学共216	民俗学Ⅰ	2	1～2年次	前期	講義
自由選択(共通)	地文103	民俗学Ⅱ	2	1～2年次	後期	講義
必修(共通)		共通教育等科目(社会系)	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文200	地域文化科学フィールドワークⅠ	2	2年次	前期	講義+実習
必修(専門)	地文201	地域文化科学リテラシー	2	2年次	後期	講義+実習
自由選択(専門)	地文261	社会人類学調査法Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文262	考古学研究方法論Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文263	民俗学調査法Ⅰ	2	2年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文264	社会人類学学説史	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文265～268	民族誌Ⅰ～Ⅳ	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文265～268	考古学史	2	2～3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文361～366	社会人類学Ⅰ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文367～372	考古学研究Ⅰ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文373～378	民俗学研究Ⅰ～Ⅵ	2	2～4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文300	地域文化科学フィールドワークⅡ	2	3年次	前期	講義+実習
自由選択(専門)	地文313	社会人類学調査法Ⅱ	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文314	考古学研究方法論Ⅱ	2	3年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文314	民俗学調査法Ⅱ	2	3年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文301	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3年次	前期	演習
必修(専門)	地文302	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3年次	後期	演習
自由選択(専門)	地文379	自然遺産と博物館	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文380	文化財と博物館	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文381	沖縄民俗社会論	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文382	沖縄考古学論	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択(専門)	地文383	水中考古学	2	3～4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	地文400	卒業研究	4	4年次	後期	演習
必修(専門)	地文401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4年次	前期	演習
必修(専門)	地文402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4年次	後期	演習

合計単位数 70

初年次

高年次